

和泉イブニングセミナー 『製品を安全に運ぶ包装技術』

あなたの会社の大切な製品が、輸送中の衝撃や振動で破損した経験はありませんか？ 包装技術がこれらの問題を解決いたします。

製品が納品先や消費者の手に届くまでには、物流過程で荷扱いによる落下衝撃、輸送機関の荷台振動、倉庫保管中の積載荷重など様々な物流危害に遭遇します。そこで、その危害から製品を安全に保護できる包装について、留意しなければならない包装技術および確認のための包装試験を紹介します。

主催：(社)大阪府技術協会、和泉市ものづくりサポートセンター
大阪府立産業技術総合研究所

日時：第1回 平成21年11月12日(木)午後6時30分～8時

講師：大阪府立産業技術総合研究所 情報電子部 信頼性・生活科学系 主任研究員 中嶋 隆勝

：第2回 平成21年11月19日(木)午後6時30分～8時

講師：大阪府立産業技術総合研究所 情報電子部 信頼性・生活科学系 主任研究員 高田 利夫

：第3回 平成21年11月26日(木)午後6時30分～8時

講師：大阪府立産業技術総合研究所 情報電子部 信頼性・生活科学系 研究員 細山 亮

：第4回 平成21年12月3日(木)午後6時30分～8時

講師：大阪府立産業技術総合研究所 情報電子部 信頼性・生活科学系 研究員 津田 和城

場所：和泉シティプラザ 生涯学習センター 3階 学習室

定員：24名(受講申込をお受けした方には電話又はメールにてご連絡いたします。)

受講料：20,000円(4回分)(社)大阪府技術協会の会員は8,000円です。

(和泉市内の企業の方は、市から受講料の1/2の助成が受けられます。)

申込先：(社)大阪府技術協会までFAXまたはメールにてお申込みください。

和泉市あゆみ野2丁目7番1号 大阪府立産業技術総合研究所内

TEL：0725-53-2329 FAX：0725-53-2332 メール：yamanaka@tri.pref.osaka.jp

各回の概要

第1回 11月12日「衝撃試験の基礎から応用まで」

衝撃試験について基礎から応用まで解説し、必要最小な費用と手間で製品信頼性を向上する技術の習得をめざします。概要は次のとおりです。

- ・落下試験および製品衝撃試験について、目的・条件設定・結果の活用方法などを説明します。
- ・製品の改良指針を作成する方法を解説します。
- ・コンピュータ衝撃解析技術(FEM)を活用した商品開発事例を紹介します。

第2回 11月19日「圧縮試験の基礎」

倉庫で保管中、段ボール箱が潰れて荷崩れをする場合があります。これは、段ボール箱の強度不足が原因です。そのため、圧縮試験で箱強度を求めますが、紙材料では、その強度は、湿度が上昇すれば低下し、クリープ(材料に荷重を加えた時、時間とともに変形が増大していく現象)でも低下します。本講座では、圧縮試験方法、箱強度に及ぼす湿度の影響およびクリープの影響を中心に解説を行い、圧縮試験に関する基礎知識を習得して頂くことを目指します。

第3回 11月26日「緩衝設計の基礎 ～緩衝理論から具体的設計技法まで～」

これまでの経験により緩衝包装を行っていませんか？ 輸送トラブルが起きた場合、トラブルの原因を究明するためにも緩衝設計を理解しておくことは大変重要です。本講座では、緩衝設計を行うための緩衝理論から具体的な設計技法まで解説を行い、緩衝設計に関する基礎知識を習得して頂くことを目指します。

